

様々な事象に「心を寄せる」総合的な学習の時間の在り方

1. 設定理由

新学習指導要領より、主体的に課題解決と向き合い、様々な対象と深く関わり合いながら探究活動にとりこんでいくことが、より一層重要になると考えた。しかし、主体的に活動したり、自分以外の「人」「もの」「こと」と上手に関わったりすることを苦手とする子どもたちが多く見られる。

そこで、まず「総合的な学習の時間」の在り方や指導体制（『基盤』）の部分を見直す所からスタートし、それをもとに、様々な学年・テーマで『実践』を行っていくこととした。

2. 研究仮説

校内の指導体制の『基盤』を整え、「考えるための技法」を活用した探究的・協働的な活動にとりくませれば、児童がお互いに高め合い、心を寄せる力が育つだろう。

3. 研究内容

- 「ありがとうプロジェクト」…卒業を前にした6年生が、お世話になった方々への感謝の気持ちを表現する。
- 「広げよう あたためたい心」…様々な立場（障がい等）にいる人の気持ちを理解する。

研究の手立て

- ①「全体計画」の改定
- ②「年間指導計画」（単元配列表）の作成
- ③「思考ツール」の活用（「考えるための技法」の習得）
- ④「教育資源」との協働

4. 結 論

- 総合的な学習の時間における「全体計画」を、新学習指導要領も見据えて改定したことで、今現在の学校・児童・地域の実態が把握でき、「育てたい力」が明確になった。これによって、指導者側は明確な意図をもって指導ができるようになった。
- 新しい形式の「年間指導計画」（単元配列表）を作成したことで、各教科・領域とのつながりが意識でき、見通しをもって指導ができるようになった。これにより、校内体制（『基盤』）を整えることにつながった。
- 「考えるための技法」を習得するために、「課題の設定」や「整理・分析」の場面で、「思考ツール」を活用することが、効果的であることが改めてわかった。
- 「教育資源」の協働（活用）による教育的効果が大きいことがわかった。このつながりをなくさないように、「教育資源リスト」を作成するようにした。

1 研究主題

様々な事象に「心を寄せる」総合的な学習の時間の在り方

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領から

平成32年度より全面実施となる新学習指導要領の内容・方針が明らかとなった。改訂のポイントとして、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって学び続けるようにするための「主体的・対話的で深い学び」の実現が挙げられており、総合的な学習の時間のさらなる充実が求められている。一方、外国語教育の充実を図るため、移行期間において、総合的な学習の時間の時数が割かれているということもある。

このことを受けて、主体的に課題解決と向き合い、様々な対象と深く関わり合いながら探究活動にとりこんでいくことが、より一層重要になると考えた。

(2) 地域・学校の実態から

本校は、昨年度創立25周年を迎え、今年度26年目である。四街道市の最南端に位置し、千葉市千城台団地に隣接している。校舎の北側には山林が広がり、南側から西側にかけては大規模な宅地開発により、新興住宅地が形成されている。

保護者・地域住民の教育への関心は全体的に高く、学校行事や地区行事への参加数・参加率ともに高い。生活科や総合的な学習の時間の一環で、地域住民や社会教育団体に協力していただく時もある。また、本校を含む旭中学校区の4小学校は、四街道市教育委員会より、英語特区に指定されている。そのため、年間35時間の外国語活動に取り組んでいる。その代わり、総合的な学習の時間が年間55時間の実施予定となっている。

(3) 児童の実態から

研究を行うにあたって、本校教職員や地域の方・保護者から意見をいただき、児童の実態について考察してみた。

本校の児童は、明るく人懐っこい児童が多いことが大きな特徴の一つである。また、休み時間には、積極的に外遊びする姿も多く見られたり、学校行事等にも一生懸命にとりくんだりしている。このことから、積極性やチャレンジ精神が見られる。しかし、課題も当然ある。以下に示す点が、現状の大きな課題と言える。

- ① 自分中心に物事を考え、相手の気持ちを押し量ることのない言動により、友達関係のトラブルに発展することが多い。
- ② 教員の指示がなくても「自分達で考え、行動していく」という主体的に物事にとりくむ姿勢に乏しい。
- ③ 学習面・生活面ともに、改善に向け継続して努力することが苦手である。途中であきらめたり、飽きてしまったりする様子が見られる。
- ④ 保護者や地域の方に守られて育っている子どもが多く、年長者に対して、友達のような言葉遣い・態度で対応する。

(4) 「心を寄せる力」とは

以上のような児童の実態から、今の吉岡小児童（吉岡っ子）に足りない力・育てたい力を「学び続ける力」・「関わる力」・「表す力」という3つにまとめた。

育てたい力		具体的な資質
学び続ける力	課題の設定	体験活動や学習活動の中から課題を設定する。
	情報の収集	目的に合った情報を、様々なツールを使って集める。
	整理・分析	多様な情報の中から特徴を見つけたり、比較したりして考える。
	粘り強さ	途中であきらめず、学習に粘り強くとりくむ。
関わる力	協働性	友達と話し合ったり、協力したりして問題を解決する。
	他者理解	相手の気持ちを考えたり、自分と異なる考えを認めたりできる。
	地域との関わり	地域の人・もの・ことに興味をもち、つながりをもつ。
表す力	話す表現	話し合いの場で、自らの考えをわかりやすく述べる。
	書く表現	調べたことや自分の考えをわかりやすく書く。
	まとめ・表現	自分の考えや意見を工夫してまとめ、相手に伝える。

そして、その3つの力を総合して「心を寄せる力」と設定した。この「心を寄せる」とは、「思いをかける・関心を持つ・熱中する・傾倒する」等の意味をもつ。特に、「傾倒する」というのは、「ある物事に心を引かれ夢中になること」「ある人を心から尊敬し、慕うこと」という意味である。主題に示したように、『人』・『もの』・『こと』などの様々な事象に対して、「あることに関心を持つ」「ものごとに熱中する」「人を心から尊敬する」などのような資質を身に付けさせたいと考え、「心を寄せる力」と名付けた。

「総合的な学習の時間」を通して、吉岡の児童の「心を寄せる力」を育てたいと考え、研究にとりくむようにした。

心を寄せる力 = 学び続ける力 ・ 関わる力 ・ 表す力

3. 研究の方向性

以上の主題設定の理由から、新学習指導要領の内容をしっかりと視野に入れつつ、その上で、吉岡っ子の課題をクリアできる「総合的な学習の時間」を展開していくこととした。

そこで、始めから『実践』に入るのではなく、本校における総合学習の在り方や指導体制（『基盤』）の部分を見直す所からスタートした。新学習指導要領解説や研修会で学んだことを頼りに、まずは本校における総合学習の『基盤』をしっかりとつくり、それをもとにして、様々な学年・テーマで『実践』を行っていくこととした。それによって、担任が替わったり、学年が上がったりしても、吉岡小の総合学習という軸がぶれないようになると考えた。そして、総合学習を通して、「心を寄せる力」を身に付けさせたいと考え、研究にとりくんだ。

4 研究仮説

校内の指導体制の『基盤』を整え、「考えるための技法」を活用した探究的・協働的な活動にとりくませれば、児童がお互いに高め合い、心を寄せる力が育つだろう。

5 手立て

手立て①「全体計画」の改定

新学習指導要領を見据え、「総合的な学習の時間」を充実したものにする前提として、校内の「基盤」から整備することが必要であると感じた。そこで、まずは学校の「全体計画」を見直し、改定に取りかかった。新学習指導要領解説や第5部会総合的な学習の時間研修会での講義を参考にさせていただいたところ、今回の改訂で「全体計画」を全て書き換える必要はないということがわかった。大きな変更点と言えば、「目標を実現するにふさわしい探究課題」「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」の2点である。そのため、今の児童・学校・保護者・地域の実態を改めて見つめ直し、新たな「探究課題」や「育てたい資質・能力」を考えることができた。

→資料編 資料①「旧」全体計画 ②「新」全体計画

手立て②「年間指導計画」(単元配列表)の作成

「基盤」を整える上で、次にとりくんだことが「年間指導計画」(単元配列表)の作成である。新学習指導要領の中では、「総合的な学習の時間と各教科等の単元を関連付けた年間指導計画(例)」として紹介されている。また、生活科・総合的な学習の時間の実践研究で有名な國學院大學の田村学教授も、この「単元配列表」を推奨している。例えば、学年の全教育活動を視野に入れることができるように、総合的な学習の時間における単元と、各教科等の単元を配置することに加え、相互の関連を線で結べば、1年間の流れの中で各教科等との関連を見通した年間指導計画ができる。

「各教科等で育成される資質・能力がどのようにつながり、関連付いていくのかを想定して配列を行うことで『活用・発揮』することが実現しやすくなる。」という田村教授の言葉通り、この「単元配列表」を作成することで、他教科・領域を横断して、総合的に学習することができると思った。

→資料編 資料③～⑥「単元配列表」3～6学年

手立て③「思考ツール」の活用(「考えるための技法」の習得)


これまでの実践から、総合学習の探究的な学習サイクルの中でも、「課題の設定」「整理・分析」の場面で、戸惑う児童が多いことが予想される。それは、自らの課題を設定する際、テーマに関する知識が少なかったり、課題に対して調べたことを分析する際には、共通点や相違点を上手く整理できなかつたりするからだと考えられる。そのため、その2つの学習過程において、「考えるための技法」(思考スキル)を習得し、活動ができるように、「思考ツール」を活用することにした。それによって、「思考の可視化」ができ、抽象的な情報を扱うことが苦手な児童も、思考がしやすくなるだろうと考えた。また、「思考を可視化」することで、協働的・対話的な学習を深めることにもつながると考えた。

また、「考えるための技法」を取り入れる際に注意することは、児童の発達段階や実態をしっかりと掴んで、「思考ツール」を選択することである。もう1点は、「ツールの活用が目的ではない」ということを理解することである。あくまで「ツール(道具)」であるため、しっかりとした「ねらい」を達成するための一助と捉えて、活用することにした。

手立て④「教育資源」との協働

新指導要領解説に「総合的な学習の時間を効果的に実践するには、保護者や地域の人、専門家などの多様な人々の協力、社会教育施設や社会教育団体等の施設・設備など、様々な教育資源を活用することが大切である。」とあるように、学校だけで行う実践には限界がある。そこで、積極的に地域の人材や社会教育施設等に連携・協力を求めた。単に「力を貸してもらおう」のではなく、「共に同じ地域の子どもを育てる」という考えのもと、『学習協力者』としてお願いした。また、多様な人々の協力を得て学習活動を充実させるには、綿密な打合わせを行うことが不可欠であるため、適切な時間や機会の確保に気を付けた。

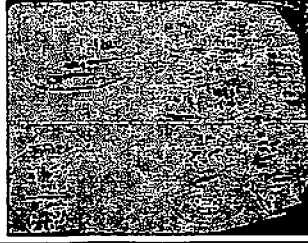
6 指導の実際

第6学年「ありがとう プロジェクト」		全20時間扱い+道徳②・国語①・家庭②										
<p>[単元設定の理由] 卒業を前に、今までの小学校生活を振り返り、お世話になった人・支えてくれた人達の事を再認識し、その人達への「感謝の気持ち」を表現することで、「心を寄せる力」を育てたい。</p> <p>[目標] (学び続ける力) 「感謝」について、自らの課題を設定し、必要な情報を集め、互いの考えを整理・分析する活動に粘り強くとりくみ、課題を解決することができる。 (関わる力) 課題解決のために、他者と協働的に活動することができる。 (表す力) 課題について、意見を述べるなどして、適切に自分の考えを表現できる。</p>												
単元	過程	学習内容										
第一次 ありがとう プロジェクト P A R T I	課題の設定	<p>今までの学校生活を振り返り、いつ、どのような人に、どんなことでお世話になってきただろうか。</p> <p>○「考えるための技法」『関連付ける』のために、</p>  <p>「思考ツール」『イメージマップ』の活用</p> <p>道徳「支え合いや助け合いに感謝して」との連携</p> <p>「お世話になった人」</p> <table border="1"> <tr> <td>先生方</td> <td>在校生</td> <td>地域の人</td> <td>ホテルの人</td> <td>太鼓指導の方</td> </tr> <tr> <td>家族</td> <td>給食調理員</td> <td>カメラマンさん</td> <td>米作りの方</td> <td>110番の家</td> </tr> </table>	先生方	在校生	地域の人	ホテルの人	太鼓指導の方	家族	給食調理員	カメラマンさん	米作りの方	110番の家
	先生方	在校生	地域の人	ホテルの人	太鼓指導の方							
家族	給食調理員	カメラマンさん	米作りの方	110番の家								
情報収集		<p>お世話になった人達が、望んでいること・喜ぶことは何だろうか。</p> <p>○グループごとに、必要な情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族への聞き取り調査 ・在校生へのアンケート ・インターネットを活用しての調べ学習 ・地域の方へのインタビュー <p>国語科「アンケートのとり方」との連携</p>										

整理・分析

収集した情報から、どういうことなのかを整理しよう。

- 「考えるための技法」『比較・分類する』のために、
「思考ツール」『K』法』を活用しての情報の共有・整理・分析



「ホワイトボード」
「付箋紙」が効果的。

まとめ・表現

グループごとにまとめた情報をみんなに発表しよう。

- 「整理・分析」でまとめた内容を、学級全体で発表→【情報の共有】



「望んでいること」「喜ぶこと」→『方法』

色紙	ブックカバー	スピーチ	挨拶運動	演奏会
メッセージカード	清掃活動	劇・ダンス	ばちケース制作	

第二次

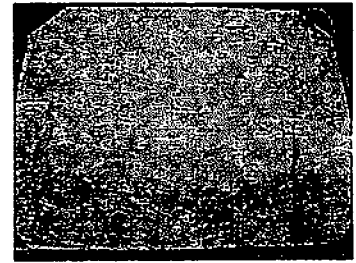
課題の設定

プロジェクト

PART II

「感謝の気持ち」を表現する『相手』を選択し、相応しい『方法』を考えて、それぞれのプロジェクトを立ち上げよう。

- 第1次で考えた『相手』ごとにグループを組み、その『相手』に相応しい『方法』を考えるため、「思考ツールの」『座標軸』を活用して決定。



先生方	→	ブックカバー	給食調理員	→	色紙
家族	→	手紙	太鼓指導の	→	ばちケース
地域の人	→	メッセージカード	在校生	→	挨拶運動・ダンス
カメラマンさん	→	メッセージカード	学校	→	清掃活動

情報
収集

「ありがとうプロジェクト」を実現するためには、どうすればよいか。

○グループごとに、「プロジェクト」を実現するために必要な情報を収集する。

整理
・
分析

「ありがとうプロジェクト」の活動計画を立てよう。

○グループごとに、『方法』についての詳細な内容を話し合い、決定する。

- ・「いつ」「どこで」「どのように（何を）」表現するか、グループごとに決定。
- ・役割分担等、見通しをもって活動計画を考える。

まとめ

「ありがとうプロジェクト」を実行し、今までお世話になった人達への感謝の気持ちを表現しよう。

○グループごとに、プロジェクト実行に向けての企画・準備・練習を行う。

表現



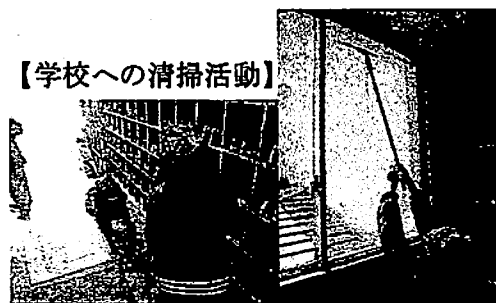
○プロジェクトを実行する。



【給食調理員さんへの感謝状】



【先生方へのブックカバー】



【学校への清掃活動】



【在校生へ】



【修学旅行のホテル・インストラクターさんへ】



この他にも、様々な
プロジェクトを実行！



振り返り

第二次
ありがとうプロジェクト
PART II

[単元設定の理由]


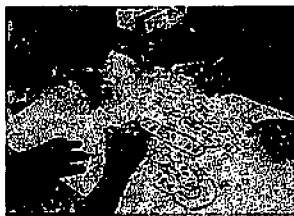


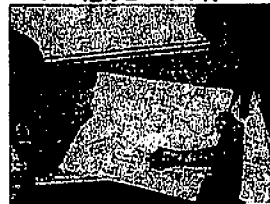

日頃から、自己中心的で他者に思いやりのない言動が多いという実態から、自分とは異なる立場の人についての体験をしたり、講話を聴いたりすることで、「心を寄せる力」を育てたい。

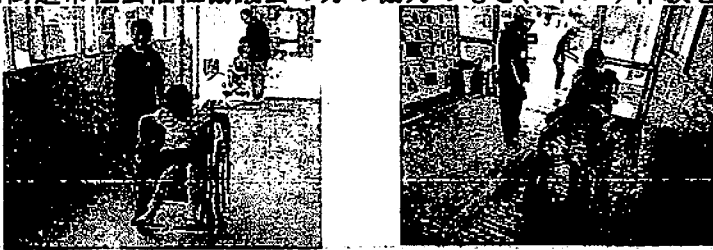



[目標]

〈学び続ける力〉「福祉」について、自らの課題を設定し、必要な情報を集め、互いの考えを整理・分析したり、伝え合ったりしながら、課題を解決できる。

〈関わる力〉 課題の解決に向けて、友達や地域の方と協働的に関わることができる。

〈表す力〉 課題について、話し合いで意見を述べたり、ワークシートに書いたりして、適切に自分の考えを表現できる。

単元	過程	学習内容
第一 次 福祉 と 四 街 道 車 い す 篇	課 題 の 設 定	<div style="text-align: center;">  </div> <p>○「福祉」とは「みんなが幸せ」であること。(スライドショーの活用)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「助けが必要な人」とは、どのような人達だろうか。</p> </div> <p>○少人数グループによる「考えるための技法」『関連付ける』のために、 「思考ツール」『イメージマップ(グループ)』の活用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>○『イメージマップ』を使っでの意見の共有</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;"> <p>「思考の可視化」 によって、対象が 具体化される。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">目が見えない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">耳が聞こえない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">車いすの人</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">手足が不自由な</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">お年より</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">妊婦さん</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">障がいのある人</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「助けが必要な人」は、本当に「かわいそう」「大変そう」なのだろうか。 その人達の気持ちを知るためには、どうすればよいか。</p> </div> <p>○話し合い、方法を模索する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="margin-right: 20px;">・体験(その人の立場になる) <li style="margin-right: 20px;">・アンケート <li style="margin-right: 20px;">・インタビュー <li style="margin-right: 20px;">・調べる(インターネット・本) <li style="margin-right: 20px;">・手紙

第一次 福祉と四街道 車いす 車いす 車いす	情報 の 収集	<p>車いすに乗ってみて、車いすに米る人の気持ちを考えよう。</p> <p>○四街道市社会福祉協議会の方の協力のもと、車いす体験を実施</p>  <p>担当の方とは1週間前に事前打ち合わせを行い、児童の「実態」、「育てたい力」等について理解していただき、実施した。</p>
	整理・分析	<p>車いす体験で考えたことを、みんなでまとめよう。</p> <p>○「考えるための技法」『比較・分類する』のために、 「思考ツール」『K』法』を活用しての情報の共有・整理・分析</p> 
	情報 の 収集	<p>車いすについて、もっと深く調べよう。</p> <p>○「整理・分析」を通して、新たに生まれてきた疑問・高まった興味から、本やインターネット等の調べ学習へ</p> 
まとめ 表現	<p>車いすについて、それぞれのテーマで調べた内容をまとめよう。</p> <p>○それぞれのテーマで調べたことを「新聞」に表し、まわりに発信</p> <p>主なテーマ 「車いすの種類」 「車いすのアスリート」 「パラリンピックの種目」 「車いすの歴史」 など</p>	
第二次 視覚障がい	課題 設定	<p>視覚障がいについて、知っていることを出し合おう。</p> <p>○少人数グループによる「考えるための技法」『関連付ける』のために、 「思考ツール」『グループイメージマップ』の活用</p>
	情報 の 収集	<p>視覚障がい者の方のお話を聞き、「視覚障がい」について深く知ろう。</p> <p>○社会福祉協議会に相談し、話を広げてもらい四街道市のボランティア団体「友愛の会」・「キツスキの会」の方々の協力のもと、視覚障がいの方による講話・福祉体験を実施</p> 

7 授業後の姿容・態度

児童アンケート集計結果 ※肯定的意見がどれだけ増加したか。

調査対象 6年2組児童 30名

調査方法 紙面アンケート

「心を寄せる力」の高まり

項目	事前アンケート	事後アンケート
総合への興味・関心	80%	97%
家族への感謝の思い	93%	97%
地域への感謝の思い	63%	100%
①【学び続ける力】	56%	88%
②【関わる力】	76%	91%
③【表す力】	63%	81%
心を寄せる力 (①+②+③) ÷ 3	65%	87%

→資料編 資料⑦「実態調査児童アンケート」

児童の感想 ※抽出児童のみ記載

調査対象 6年2組児童

調査方法 児童ワークシート

・はじめは、「総合的な学習の時間」は4教科よりも楽だから、好きだと考えていたけど最後にやった「プロジェクト」は、心から楽しいと思ってやっていた。

(児童A) → 【興味・関心】

・みんなで意見を出し合う時に、1枚のホワイトボードを使うだけで、みんなの意見が色々聞けるし、考えを重ねることができるのはうれしかった。またやりたいと思った。

(児童B) → 【課題の設定】【整理・分析】

・4教科とちがって、総合は特別な勉強だと思った。特に、みんなと話し合っ、「座標軸」の時に、よりよい方法を考えるところが好きだった。

(児童C) → 【整理・分析】【話す表現】

・前から、インターネットで調べたことをまとめたり、発表したりするのは楽しかった。でも、最後の総合「プロジェクト」はそれだけじゃなくて、卒業の前に、みんなでたくさん協力することができたと思う。

(児童D) → 【協働性】【他者理解】

・最初、給食の調理員さんや皆川さん(地域の方)がやってくれていることは、当たり前で気にしてなかった。でも、このプロジェクトをやっているうちに、いつもやってもらっていることは、当たり前じゃないんだと思った。

(児童E) → 【他者理解】【地域との関わり】

考察

児童の意識アンケート(事前・事後)の結果から、吉岡小児童の課題であり、目標としていた「心を寄せる力」(学び続ける力・関わる力・表す力)が高まったことがわかる。特に伸びが大きかったのは、事前アンケートで一番低かった「学び続ける力」である。これは、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」(「まとめ・表現」)「粘り強い学習」といった探究的な活動が中心となっているため、その学習過程をしっかりと身に付けることができた

いえる。4つの手立てが結びついた成果だと考えられる。

また、児童がとても主体的であり、協働的な姿勢だったと感じる。その大きな要因として考えられるのは、やはり「卒業までもう少し」という卒業を控えた6年生独特の思いではないかと感じられた。小学校6年間の締めくくりとして、児童の心に響き、「切実」な思いで総合に没頭していたように思う。そして、ほとんどの児童が、普段意識していない「お世話になっている」「支えられている」ということに改めて気づき、「感謝」の気持ちをもって卒業していったと感じる。

8 成果（○）と課題（▲）

- 総合的な学習の時間における「全体計画」を、新学習指導要領も見据えて改定したことで、今現在の学校・児童・地域の実態が把握でき、「育てたい力」が明確になった。これによって、指導者側は明確な意図をもって指導することができるようになった。
- 新しい形式の「年間指導計画」（単元配列表）を作成したことで、各教科・領域とのつながりが意識でき、見通しをもって指導ができるようになった。これにより、校内体制（『基盤』）を整えることにつながった。
- 「考えるための技法」（思考スキル）を習得するために、「課題の設定」や「整理・分析」の場面で、「思考ツール」を活用することが、効果的であることが改めてわかった。
- 「教育資源」の協働（活用）による教育的効果が大きいことがわかった。このつながりをなくさないように、「教育資源リスト」を作成するようにした。
- ▲ 今回は、学級単体の実践がメインで終わってしまった。今後は、今回とりくんだ内容を、学校全体としてどのように広げていくかを考えていく必要がある。
- ▲ 「思考ツール」が、とても有効であることが再確認できたため、今後は総合だけでなく、他教科でも活用していけるよう連携していきたい。
- ▲ 「教育資源」の社会福祉協議会や地域の方と協力・連携する場合は、形式的な体験行事だけにならないように注意しなければならない。
- ▲ 平成32年度の新学習指導要領完全実施に向けて、現在の移行期間の内に、さらに学校の『基盤』を固めたり、職員間で共通理解を図ったりする等、備える必要がある。

～資料編～



資料① 「旧」総合的な学習の時間全体計画

資料② 「新」総合的な学習の時間全体計画



資料③ 年間指導計画（単元配列表）第6学年

資料④ 年間指導計画（単元配列表）第5学年

資料⑤ 年間指導計画（単元配列表）第4学年

資料⑥ 年間指導計画（単元配列表）第3学年

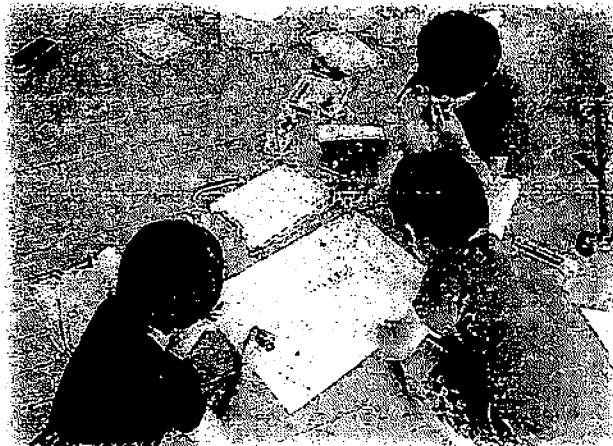


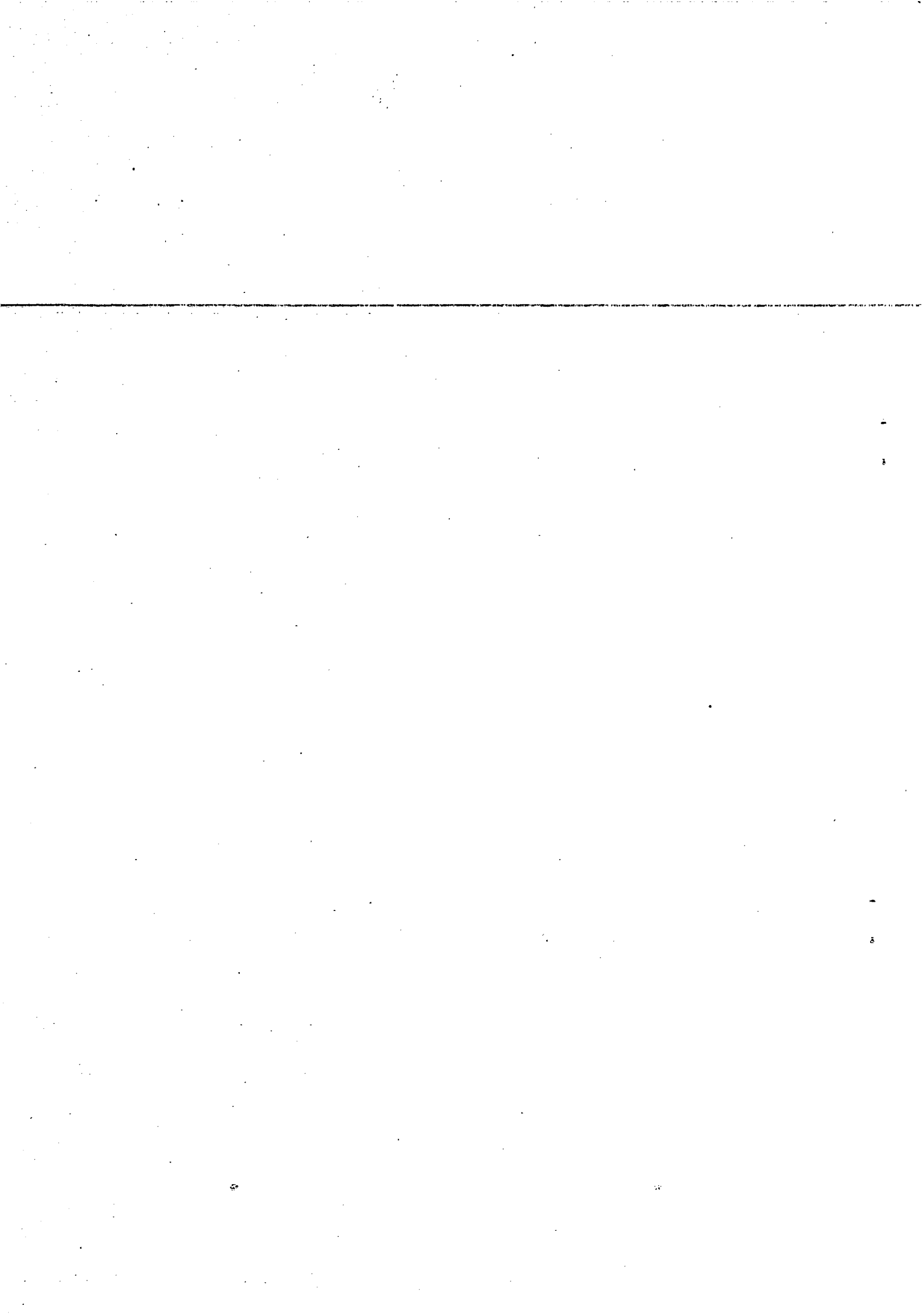
資料⑦ 実態調査児童アンケート

資料⑧ 実践で用いた思考ツール① ～座標軸～

資料⑨ 実践で用いた思考ツール② ～KJ法～

資料⑩ 実践で用いた思考ツール③ ～イメージマップ～





総合的な学習の時間 全体計画

四街道市立吉岡小学校

学校教育目標	
確かな学ぶ力と思いやりの心を持ち、たくましく生きる児童の育成 【めざす児童像】 よ…よく考える子ども し…心身共に健康な子ども お…思いやりのある子ども か…感性の豊かな子ども	

総合的な学習の時間目標	
児童の興味・関心に基づき、探究的協同的に課題を解決していく中で、学んだことを生かそうとする態度や自己表現する力を育てる。	

観 点			
課題を発見し、設定する力	必要な情報を収集し分析する力	目標を設定し課題解決に向け行動する力	他者と協同して課題を解決する力
学習方法	学習方法	自分自身への振り返り	他者や社会とのかわり

各教科	○基礎・基本の定着を図り、その力を基に幅広く活用できる学力の育成 (国語) 相手や目的、意図に応じ、考えた事を的確に伝えたり、聞いたりする。 (社会) 身近な地域や我が国の生産や販売、公共施設、産業等に対し、見学や調査を通して理解を深めたり、愛情を持ったりする。 (生活) 具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考える。 (家庭) 実践的・体験的活動を通して、近隣の人々との生活や自分の家庭生活について考える。
	(自分自身に関すること) 善悪の判断を適切にし、より高い目標を持って努力しようとする。 (他の人とのかかわりに関すること) 日常生活に必要な礼儀やマナーを身につけ、相手の立場に立って親切にしようとする。 (集団や社会とのかかわりに関すること) 働くことの意義を知り、公德心を持って社会に貢献しようとする。
	(学級活動) ピアサポートを中心として、豊かな人間関係づくりを図る。係活動では、責任を果たすことの大切さと素晴らしさを体験する。 (児童会活動) 働くことの意義を理解するとともに、よりよい学校づくりへの貢献意識を高める。 (学校行事) 勤労生産・奉仕的行事を通して、社会奉仕の精神を培う。遠足・集団宿泊的行事では、見聞を広め、様々な分野への興味・関心を高める。

吉岡っ子 総合的な学習の時間 全体計画

平成30年度 四街道市立吉岡小学校

【児童の実態】

- ・明るく、人懐っこい児童が多い。
- ・積極的に外遊びをする児童も多く見られる。
- ・コミュニケーション能力が低く、人との関わり方が苦手な児童が多い。
- ・主体的な姿勢・態度が見られることが少ない。

【学校教育目標】

- 確かな学ぶ力と思いやりの心を持ち、
たくましく生きる児童の育成
- よ … よく考える子ども
 - し … 心身ともに健康な子ども
 - お … 思いやりのある子ども
 - か … 感性の豊かな子ども

【保護者の願い】

- ・確かな学力、豊かな人間性、健やかな体を育ててほしい。
- ・ルールやマナーをしっかりと守って欲しい。
- ・しっかりとした学習習慣を身につけてほしい。
- ・思いやりのある子に育ててほしい。

【地域の実態】

- ・四街道市の最南端に位置し、千葉市に隣接している。生活圏は千葉市を中心としている家庭が多い。
- ・新興住宅地であり、若い世代の保護者が多い。
- ・地域の取り組み(祭り等)の歴史が浅い。

【吉岡っ子(総合的な学習の時間)の目標】

- ・探究的な見方・考え方を働かせ、身の回りの人・もの・ことについての総合的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1)身の回りの人・もの・ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- (2)身の回りの人・もの・ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
- (3)身の回りの人・もの・ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

【地域の願い】

- ・挨拶が活発にできるようになってほしい。
- ・社会のルール、マナー、モラルをしっかりと守るようになってほしい。
- ・地域に愛着をもってほしい。
- ・思いやりのある子どもに育ててほしい。

【目標を実現するにふさわしい研究課題】

三つの課題	探究課題
福祉	広げよう あたたかい心 (4年)
食	レッツ・トライス (5年)
伝統文化	吉岡伝統の和太鼓 (6年)
地域	吉岡めぐり (3年)
キャリア	お仕事体験 (6年)
ものづくり	おもちゃ研究所 (3年)

【研究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力】

心を寄せる力	学び続ける力	様々な事象に関わり、その中から課題を見つける力。また、自らの課題を粘り強く追究し、主体的に解決することができる力。
	関わる力	問題解決のために、友達や地域の方と協働的に関わろうとする態度。または、それに必要不可欠なコミュニケーション能力。
	表す力	自己の考えを話したり、書いたりして、適切に思いを表現することができる力。また、つくった物を、他者へと発信する(伝える)力。

【学習活動】	【指導方法】	【学習の評価】	【指導体制】
(3年) 吉岡めぐり [地域] おもちゃ研究所 [ものづくり] (4年) 広げようあたたかい心 [福祉] (5年) レッツ・トライス [食] (6年) 吉岡伝統の和太鼓 [伝統文化]	・児童の課題意識を連続発展させる支援 ・諸感覚を駆使の重視 ・協働的な学習活動の充実 ・対話を中心とした個別支援の徹底	・観点別学習状況を把握するための評価基準の設定 ・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の重視 ・学期末、学年末における指導計画の評価と改善	・地域教育力の人材バンクへの登録と効果的運用 ・学年会における「実践」と「情報」の交流 ・担任以外の教職員による支援体制の樹立

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合的な学習の時間(55)	吉岡伝統の和太鼓【伝統文化】 [課題設定][情報収集][整理・分析][まとめ・表現]								ありがとうプロジェクト			
国語(145)	言葉で伝え合おう(7)	随筆を読んで感動をもたせて書こう(18) 話し合っ、考えや意見を一つにまとめよう(4)	伝えたいことをすいせん文にまとめよう(10) 日本語のひびきを味わおう(6)	感想を話し合おう(10)	豊かな自然の低い手になるよう(4) 自分のものの見方や考え方を深めよう(9)	意見を出し合おう(13)	物語の世界を創造して書こう(13) 筆者の考えを読み、感想を書こう(8)	読解力のある文章を書こう(7) 大切な本を紹介しよう(6)	興味のある人物を紹介しよう(14) 日本語の文化を考えよう(12)	外国語の学習これまでこれから(4) 中学生になるみなさんへ(3)		
書写(30)	はじめの学習(2)	文字の組み立てと点画のつながり1・2(4) トライあんどチャレンジ(2)	字配りと点画のつながり(2)	トライあんどチャレンジ(1) 知りたい文字の世界(1)	トライあんどチャレンジ(2) 字配りと点画のつながり(4)	トライあんどチャレンジ(3)	書き初め(2)	学習のまとめ(5)				
社会(105)	縄文のむらから古墳のくにへ(7)	天皇中心の国づくり(8) 貴族のくらし(4) 武士の世の中へ(6) 今に伝わる室町文化(4)	3人の武将と天下統一(7) 江戸幕府と政治の安定(6) 町人の文化と新しい学問(5)	明治の国づくりを進めた人々(7) 新しい日本・平和な日本へ(6)	子育て支援の願いを実現する政治(8) 国の政治のしくみ(3)	わたしたちのくらしと日本校憲法(6) 日本とつながりの深い国々(8) 世界の未来と日本の役割(8)						
算数(175)	つりあいのとれた形をしらべよう(15) 円の面積の求め方を考えよう(8)	文字を使って式に表そう(7) 分数のかけ算を考えよう(12)	分数のわり算を考えよう(14)	角柱や円柱の体積の求め方を考えよう(7) およその面積を求めよう(5)	図形の置き方を考えよう(11) 図形が同じで大きさがちがう図形を探よう(10)	速さの置き方を考えよう(12) 算数の目で見よう(3) 比例をくわしく調べよう(9) かたちであそぼう(1)考える力をばそう(4)	順序よく整理して調べよう(8) 考える力をばそう(4)	量の単位のしくみ(8) 算数の目で見てみよう(3)	算数のまとめ(15)	算数行		
理科(105)	わたしたちの生活と環境(3) ものの鑑え方(9)	植物の成長と日光の関わり(6)	体のつくりとはたらき(12) 植物の成長と水の関わり(6) 生物どうしの関わり(6)	月と太陽(8)	水溶液の性質(12)	土地のつくりと変化(12)	てこのはたらき(11)	電気の性質とその利用(11)	生物と地球環境(9)			
音楽(50)	音の重なりとひびき(3)	ひびき合いを生かして(4) 演奏のみりよく(4) にっぽんのうた みんなのうた(1) スキルアップ(6)	音楽のききどころ(3)	豊かな表現を求めて(6) 音のスケッチ(3) にっぽんのうた みんなのうた(2) スキルアップ(6)		わたしたちの国の音楽(4)	音楽に思いを込めて(4)	卒業式(2)				
図工(50)	感じたままに花(4)	わたしのお気に入りの場所(3) 粘土の切り口墨の絵(3) 組み木パズル(3)開閉コレクション(1)	窓の向こうには(4)	うつつて見つけてわたしの世界(4)	布や枝のコンサート(4) おどる光遊ぶかけ(4) いろいろな見方・はさみと紙(4)	白い物語(2) 白い世界(4)	12さいの力で(6)	伝え方を楽しもう(4)				
家庭(55)	わたしたちの生活時間(2) いためてつこう 朝食のおかず(9)	グリーン大作戦(5) 暑い季節を快適に(7)	楽しくソーイング(10) くふうしよう おいしい食事(12)		共に生きる生活(10) 成長したわたしたち 中学生に向かって(1)							
体育(90)	組体操 走・跳の運動	表現・集団行動 リズムダンス 水泳 保健「心の発達」		鉄棒運動 リレー	マット運動 持久走	持久走 走り幅跳び	持久走 走り幅跳び	ベースボール 型ゲーム 薬物指導	バスケット ボール なわとび	サッカー 保健「病予防」		
学活(35)	当番活動の確保 学級組織を作ろう なかよし遊を覚えよう 1年生を迎える会の企画	運動会について話し合おう	「命を大切に するキャンペーン」 について 学級や学校の周囲 点について	学級集会をしよう 1学期をふり返ろう 夏休みの過ごし方 クラブについて	つこう係活動 学級組織を作ろう 避難訓練での正しい行動	本の選び方を考えよう 図書室での過ごし方	「いじめ撲滅キャンペーン」について 学級や学校の問題点について 「ふわふわ音楽」	スロープを使う時の約束 学級集会をしよう 2学期をふり返ろう 冬休みの過ごし方を確認しよう	学級組織を作ろう 協力して掃除しよう ホワイトスクール	6年生を送る会の準備をしよう 中学校を見に行こう	卒業式に向けて 一学期を振り返ろう もうすぐ中学生 夏休みの過ごし方	
英語(70)	挨拶・自己紹介 教室の会話 私は誰でしょう	自分ができごと 日本の四季と行事 四街道をアピールしよう		夏休みの思い出 世界の国々	道案内をしよう 1日の生活	小学校の思い出 将来の夢・職業について 得意なこと・得意でないこと						

資料④ 四街道市立吉岡小学校 第5学年 単元配列表(「総合的な学習の時間」年間指導計画) 心を寄せる力=[学び続ける力・問わる力・表す力]

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合的な学習の時間(55)	レッツ・トライス (代かき・田植え・課題設定・生育状況調査)				レッツ・トライス (稲刈り・脱穀・情報収集・情報発信) キャリア教育 (製鉄所見学・働く人調べ)				和太鼓に触れよう (課題設定・情報収集・整理・分析・まとめ・表現) レッツ・トライス (整理・分析・まとめ・表現)		キャリア教育 (課題設定・情報収集・整理・分析・まとめ・表現)	
国語(145)	言葉で伝えよう(7) 人物の心情を想像して、物語の続きを書こう(16)	日本語のひびきを味わおう(5) 「町じまん」を一つ選んで、すいせんしよう(8)	新聞記事を書いて、言葉と事実について考えよう(16)	読みなぎる国語の楽しみになるよう(3) 立場を決めて話し合おう(9)	立場を変えて書きかえよう(15)	多様な情報を取り取り、自分の考えを深めよう(14) 日本の文化を考えよう(8)	本のすいせんしよう(12)	まんがに対する考えを文章に表そう(7)	資料をくふうして効果的に発表しよう(10) 活動を報告する文章を書いて、文章にまとめよう(9)	自分の考えをまとめよう(8)		
書写(30)	はじめの学習(2)	文字の組み立て方 硬筆の学習(1)		1・2(6)	筆順と字形(2) トライアンドチャレンジ(1)	用紙に対する文字の大きさ(8) トライアンドチャレンジ(1)	トライアンドチャレンジ(2)	書き初め(2)	平仮名の筆使い(2) 学習のまとめ(4)			
社会(100)	わたしたちの国土(21)		わたしたちの生活と食料生産(25)			わたしたちの生活と工業生産(22)		情報化した社会とわたしたちの生活(16)		わたしたちの生活と環境(16)		
算数(175)	数のしくみを調べよう(5)	立方体や立方体のかさの直し方を考えよう(11) 変わり方を調べよう(3)	小数のかけ算を考えよう(13)	小数のわり算を考えよう(15)	形も大きさも同じ図形を調べよう(10)	分数の性質を調べよう(12) 分数と小数、整数の関係を調べよう(10)	分数をもっと知ろう(14)	比べ方を考えよう(11) (14)	図形の角を調べよう(8) (3)	面積の求め方を考えよう(1) (15)	多角形と円をくわしく調べよう(11)	分数のかけ算とわり算を考えよう(8) 5年分の復習(3) 分数のおもむき(2)
理科(105)	天気と情報①(10)	生命のつながり①②(13)	生命のつながり③(9)	生命のつながり④(7)	生命のつながり⑤(10)	天気と情報②(3) 流れる水のはたらき(15)	電磁石の性質(13)		もののとけ方(14)		ふりこの動き(10)	
音楽(50)	音の重なりとひびき(4) スキルアップ(2) にっぽんのうた みんなのうた(2)		アンサンブルのみりよく(7) スキルアップ(3)			ひびき合いを生かして(3) にっぽんのうた みんなのうた(1)	日本の音楽・世界の音楽(6)	豊かな表現を求めて(4) 音のスケッチ(2) スキルアップ(4)		音楽のききどころ(3) にっぽんのうた みんなのうた(2)	気持ちを合わせて(3) スキルアップ(4)	
家庭(55)	わたしと家族の生活(1) はじめてみよう クッキング(6)	はじめてみよう ソーイング(7)	かたづけよう(4) やってみよう 家族の仕事(2)		わくわくミシン(11)		食べて元気に(10)		じょうずに使おう お金と物(4)	選んだ季節を快適に(6)	家族とほっとタイム(4)	
図工(50)	春を感じて(4)	切ったねん土の形から(2) 糸のこのドライブ(1)	めざせ、ローラーの達人(2) 「かくれんぼさん」をさがせ(1)	くるくる回して(4) ※ビー玉、大ぼうけん(4)	クルリンげきじょう(4) 流れる風をつかまえて(2)	でこぼこ広場に絵の具が塗る(8) ※「そのぼ」くん登場(4)	自然の中で感じたこと(2) 形と色でショートチャレンジ(2)	色を重ねて、ゆめを広げて(6)	線が包んだ形、線がつくった形(6) ※だんボールで、試して、つくって(6)	伝えたい気持ちを箱に込めて(4)		
体育(90)	組み体操	走・跳の運動表現・集団行動	バスケットボール	水泳	鉄棒運動	リレーマツト運動 鉄棒	持久走 走り幅跳び	跳び箱 けがの予防	なわとび	サッカー 病気の予防	野球	
学活(35)	つこう係活動 当番活動の役割 学級組織を作る なにかよい思ひを伝えよう	委員会活動について考えよう 運動会について話し合おう	「必を大切に」するキャンペーンについて 学級や学校の問題点	学級集会をしよう 1学期をふり返ろう クラブ活動について 夏休みの過ごし方	つこう係活動 学級組織を作る 避難訓練での正しい姿勢 本の遊び方を考えよう	グリーンスクールを成功させよう 図書室での過ごし方を確認しよう	学級や学校の問題点について 「いじめ撲滅キャンペーン」について 「ふわふわ言葉」	スロープを使うときの約束 学級集会をしよう 2学期をふり返ろう 冬休みの過ごし方	つこう係活動 学級組織を作る 協力して掃除をしよう	6年生を送る会の計画を立て、準備をしよう 学級集会をしよう	卒業式の準備をしよう 1年間をふり返ろう もうすぐ6年生 冬休みの過ごし方	
英語(70)	自己紹介 教室の会話	好きな食べ物 ペットと動物	行事・誕生日		フォトフォニックス 意なこと 教科	1日の生活 できること、できないこと	好きなこと、得意なこと		したいこと レストランでの会話	家族やあこがれの人を紹介しよう 道案内をしよう		

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合的な学習の時間(55)	広げよう あたたかい心【福祉】 [課題設定] → [情報収集] → [整理・分析] → [まとめ]												
国語(215)	言葉と出会おう(2) くらべて発見しよう(3) 想像を広げて日記を書こう(18)	わかったことを説明しよう(16)	課題にそって報告文を書こう(11) 日本語のひびきにふれよ(6)	話の組み立てを考えて発表しよう(10) 言葉の使い方を考えよう	よりよい話し合いのしかたを考えよう(18)	感想を友達に伝えよう(17) 興味をもったことをしようかいしよう(12)	ぶんぶんして図かんを作ろう(15) テーマを決めて本をしようかいしよう(17)	日本の文化に親しもう(10)	詩を楽しもう(6) 「便利」について考えよう(7) ポスターを使って発表しよう(8)	嫌子がかかるように言葉を選んで書こう(11) 音読げきをしよう(11)			
書写(30)	はじめの学習(2)	の学筆使いと国字の方向(2) 筆順と字形(2) こう筆の学習(1)	点画の接し方・交わり方(2) 横書きの描き	ひらがなの筆使い(4)	文字の組み立て(6)	トライアンドチャレンジ(2)	書き初め(2) こう筆の学習(1)	学習のまとめ					
社会(90)	火事からくらしを守る(9)	地震がくらしを守る(9) 事故や事件からくらしを守る(9)	水はどこから(11)	ごみのしよりと利用(13) 谷に囲まれた台地に水を引く(7)	県の広がり(10)	特色ある地いきと人々のくらし(21) 世界とつながるわたしたちのくらし(1)							
算数(175)	グラフや表を使って調べよう(10)	角の大きさの表し方を考えよう(11)	わり算のしかたを考えよう(19)	四角形を調べよう(17)	それば(2)	1億より大きい数を調べよう(7)	わり算の筆算を考えよう(18)	およその数の表し方を考えよう(9) 計算のやくそくを調べよう(9)	広さを調べよう(12)	1か数のしくみを調べよう(13) どのように変わるかを調べよう(6)	小数のかけ算とわり算を考えよう(16)	分数をくわしく調べよう(10) 箱の形を調べよう(10)	かたまりのしくみを調べよう(6)
理科(105)	1 季節と生き物(春)(8)	2 天気と気温(7) 3 電池のはたらき(10)	4 とじこめた空気や水(6) ◎季節と生き物(夏)(5) 5 星や月(1) 星の明るさや色(4)	◎季節と生き物(夏の終わり)(3) 6 わたしたちの体と運動	月や星(2)月の動き(7) ◎季節と生き物(秋)(4)	◎私たちの理科室(1) 8 ものの温度と体積(8)	9 もののあたため方(8)	10 月や星(3) 重の動き(6) ◎季節と生き物(冬)(6)	11 すがたをかえる水(8)	12 自然の中の()			
音楽(60)	ひびけ歌声(4)につぼんのうた みんなのうた(4) スキルアップ(4) ひょうしとせんりつ(2) めざせ楽き名人(6)			せんりつと温色(4) かけ合いと重なり(2)につぼんのうた みんなのうた(3) めざせ楽き名人(4) 日本のリズム・世界のリズム(7) 音のスケッチ(3)			えんそうのくふう(4) めざせ楽き名人(2)			〈音のスケッチ〉(3) いろいろな歌声を楽しもう(3)		音楽のききどころ(3) めざせ楽き名人()	
図工(60)	絵の具で遊んで(2~8) リズムにのって(2)	ぎこぎこころころ 楽しい仲間(4~6)	木々をじっとみつめて(4~8)	みんなだんどん むすんで(1) カードで味わう形・色(2)	バックパク(4~8) いい場所見つけてかこんでみたら(2)	まほうの力をもつ時計(4~8)	作って使って楽しんで(4~8) はると出てるふしぎな花(4~6) ぎゅうぎゅうにつめこむと(2)	だんボール、切つて、つないで(2)	風いの種から(4) ハッピーカード(2~6)	ゆめ	さんぽ		
体育(105)	短距離走 リレー ストレッチ	走・跳の運動 表現・集団行動	思春期の体と心 鉄棒運動 水泳	鉄棒遊び ハードル走	マット運動 鉄棒	持久走 跳び箱	キックベース 規則正しい生活をしよう	なわとび	ラインサッカー 走り高跳び	思考	ダンス		
学活(35)	つくろう係活動 当番活動の確認 学級組織を作ろう なかよし班を覚えよう	運動会について 話し合おう	「命を大切にする キャンペーン」について 学級や学校の問題点について	学級集会をしよう 1学期をふり返ろう 夏休みの過ごし方 クラブについて	つくろう係活動 学級組織を作ろう 避難訓練での正しい行動	図書室での過ごし方	「いじめ撲滅キャンペーン」について 学級や学校の問題点について 「ふわふわ言葉」	ストーブを使う時の約束 学級集会をしよう 2学期をふり返ろう 冬休みの過ごし方を確認しよう	つくろう係活動 学級組織を作ろう 協力してそうじをしよう	6年生を送る会の準備をしよう	学級会 1年間をふり返ろう 8月まで		
英語(35)	あいさつ、自己紹介 教室の会話	日にちと時刻 天気・季節	季節・スポーツ 好きな食べ物・欲しい食べ物	教科 教室の名前	できること・できないこと 家族と職業	ペットと動物							

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合的な学習の時間(55)	おもちゃ研究所 (課題設定・情報収集・整理分析・まとめ)				吉岡のまち調べ・吉岡の自然調べ・吉岡の歴史調べ (課題設定・調査・整理分析・まとめ)						
国語(215)	ことばと出会う(5) 物語のつづきをそうぞうしよう(17)	大事なことをまとめよう(14)	理由やれいをあけて説明しよう(16) 日本語のひびきにふれよう(6)	すじみちを立てて発表しよう(11) 物語をそうぞうして書こう(9)	いろいろな本紙をさがそう(7) 国語の調べよう(14)	物語をしようがいしよう(16) 絵文字について説明しよう(15)	話し合ってみんなの考えをまとめよう(14)	物語のおもしろいところをしようがいしよう(19) 日本の文化に親しもう(6)	楽しもう(8) まごの見分け方をしようがいしよう(12)	調べてぼうくしよう(9) 中心場面を明らかにして書こう(3)	物語を読んで、手紙を書こう(13) 国語の学習 これまでこれから(2)
書写(30)	学習の進め方(1) はじめの学習(1)	「横線」の筆使い(2) 「縦線」の筆使い(2)	「はらばら」の筆使い(2) 「おれ」と「はね」の筆使い(2) こう筆の学習(1)		こう筆の学習(3)	ひらがなの筆使い(4)	「曲がり」と「おれ」の筆使い(2) こう筆の学習(2) はらばらの書き方(1)		書き初め(2)	学習のまとめ(4)	学年のまとめ(2)
社会(70)	わたしのまち みんなのまち 学校のまわり(13)		わたしのまち みんなのまち 市の様子(12)		はたらく人とわたしたちのくらし 店ではたらく人(27)				かわってきた人々のくらし 古い道具と昔のくらし(10)	かわってきた人々のくらしのこしたいもの、わたしたちのこしたいもの(10)	
算数(175)	1九九を見なおそう(11) 2時刻と時間のもめ方を考えよう(5)	長さをはかろう(7) 新しい計算を考えよう(7)	大きい数の計算を考えよう(11) 考える力を伸ばそう(2)	計算の仕方をくふうしよう(4) かたちであそぼう(2) わり算を考えよう(11)	10000より大きな数を調べよう(11)	かけ算のしかたを考えよう(17) はしたの大きさの表し方を考えよう(13)	重さを数で表そう(9) まるい形を調べよう(9)	はしたの大きさの表し方を考えよう(12)	かけ算の筆算を考えよう(15)	三角形のなかまを見やすく整理しよう(10) かたちであそぼう(1) 問の数に目をよそ(3年の復習)	
理科(90)	1しぜんのかんさつしよう(5) 2植物をそだてよう(6)	3こん虫をそだてよう(11) ◎植物をそだてよう(2) 4ゴムや風でものをうごかさう(8)	◎植物をそだてよう(3)	5動物のすみかをしらべよう(6) ◎植物をそだてよう(5)	6太陽のうごきと地面のようすをしらべよう(11) 7太陽の光をしらべよう(7)	8ものの重さをしらべよう(7)	9豆電球にあかりをつけよう(9) 10じしゃくのふしぎをしらべよう(9)				11つるやーをひらこう(3)
音楽(60)	すてきな声で(3)	楽ふとドレミ(3) にっぽんのうた みんなのうた(4) めざせ 楽き名人(6)	くり返して重ねて(4)	せんりつと音色(5)	世界の歌めぐり(8) にっぽんのうた みんなのうた(1) めざせ 楽き名人(5)			えんそうのくふう(3)	音楽のききどころ(3)	気持ちはわかせて(2)	物語の音楽を楽しもう(2) めざせ 楽き名人(6)
図工(60)	絵の具と水のハーモニー(2) カラフルねん土のお店へようこそ(2)	友だちといっしょに(4) 長ーい紙、つくって(2)	ようこそ、キラキラのせかいへ(4) 光と色のファンタジー(4)	小さな箱の物語(4)	にぎって、ひわって、ひらめいて(2) こんにちは、ふわわさん(2)	にじんで広がる色の世界(4) タッチ、キャッチ、さわわりごち(2) いつもの場所(2)	ふしぎな乗り物(4) だんだんボール(2) タイヤをつけて出発(2)	でこぼこもよのなか(4)	形と色でショートチャレンジ(2) のこぎりひいて、ザク、ザク、ザク(4)	にこにこべんとうペタンコランチ(2) くつ下や手ぶくろにまほうをかけると(4)	みんな オン・ステージ(4)
体育(105)	短距離走リレー ストレッチ	走・跳の運動表現・集団行動	とびばこ遊び	水泳・着衣水泳けがの予防	鉄棒遊び ハードル走	ポードボール 鉄棒	持久走 ストレッチ マット遊び	キックベース バランスよく食べよう	なわとび	ラインサッカー 幅跳び遊び	みんな 創ろう 毎日6分 運動と生活
学活(35)	つくろう係活動 当番活動の確保 学級組織を作ろう なかよし班を覚えよう	運動会について 話し合おう	「命を大切に」する キャンペーンについて 学級や学校の問題点について	学級集金をしよう 1学期をふり返ろう 夏休みの過ごし方を確認しよう	つくろう係活動 学級組織を作ろう 避難訓練での正しい行動	図書室での過ごし方	「いじめ撲滅キャンペーン」について 学級や学校の問題点について 「ふわふわ言葉」	スロープを使う時の約束 学級集金をしよう 2学期をふり返ろう 冬休みの過ごし方を確認しよう	6年生を送る会の準備をしよう	学級集金をしよう 1年間をふり返ろう もうすぐ4年生 冬休みの過ごし方を確認しよう	学級集金 冬休み 保護生
英語(35)	あいさつ 自己紹介・数字	教室の会話 天気・寒暖・季節			好きな食べ物	月・曜日	教科	自分の好きなこと・友達の良いこと 動物 家族を紹介しよう			

実態調査児童アンケート

調査対象 6年2組児童 計30名

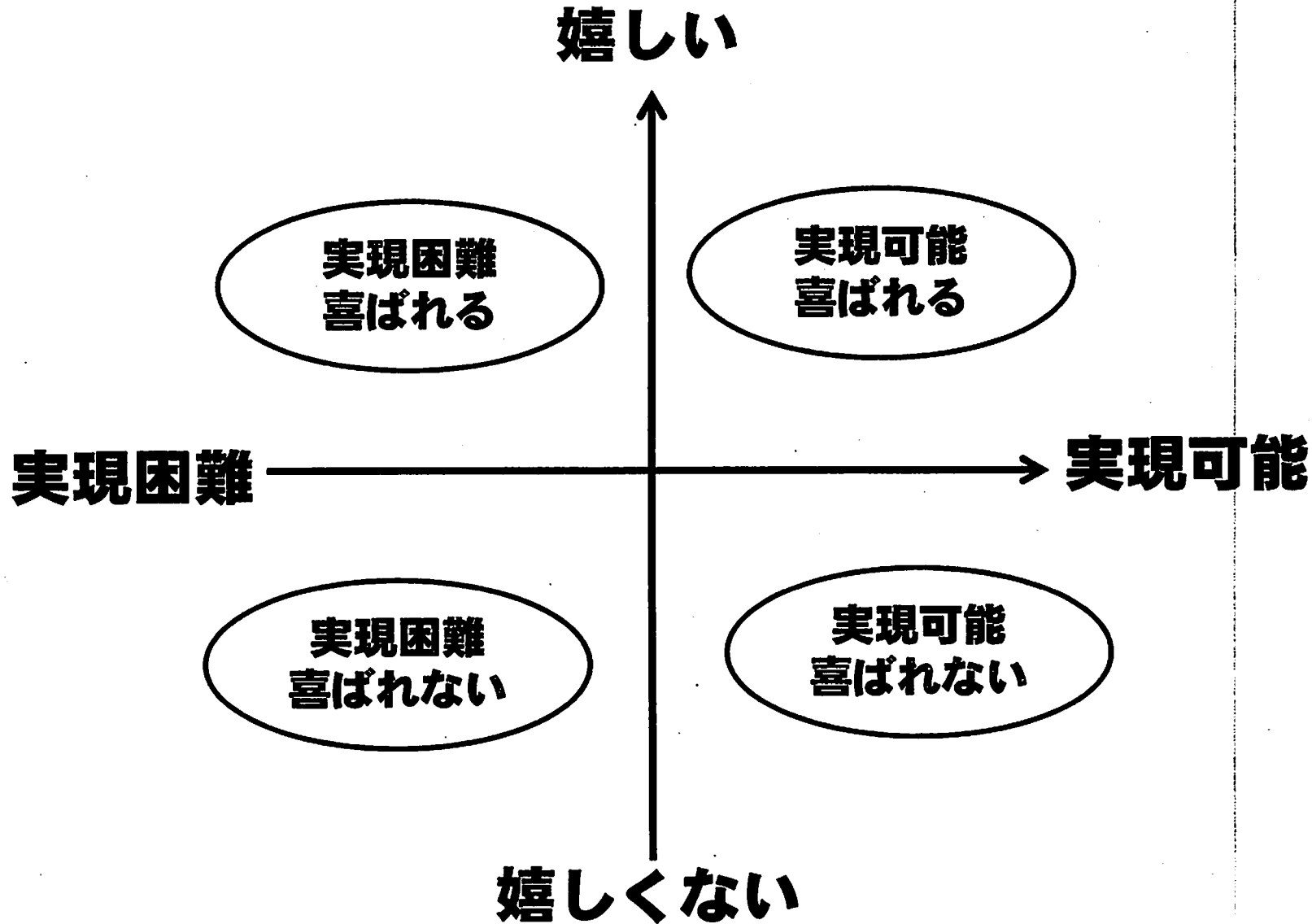
調査方法 紙面アンケート

	質問項目	回答	事前 (名)	事後 (名)
興味	1. 総合的な学習の時間は好きですか。	とても好き	9	23
関心		まあ好き	15	6
		あまり好きではない	4	1
		好きではない	2	0
学び続ける力	2. 身の回りのことに目を向けて、課題を見つけることは得意ですか。	とても得意である	4	10
		まあ得意である	11	12
		あまり得意ではない	8	6
		苦手である	7	2
	3. 課題について、必要な情報を集めることは得意ですか。	とても得意である	12	18
		まあ得意である	9	10
		あまり得意ではない	7	2
		苦手である	2	0
	4. 調べたことを整理することは得意ですか。	とても得意である	3	14
		まあ得意である	10	13
		あまり得意ではない	12	3
		苦手である	5	0
5. 途中であきらめず、学習に粘り強くとりくむことができますか。	よくできる	10	16	
	まあできる	8	13	
	あまりできていない	7	1	
	できていない	5	0	
関わる力	6. 友達と協力して問題解決することは得意ですか。	とても得意である	19	23
		まあ得意である	7	6
		あまり得意ではない	3	1
		苦手である	1	0
	7. 相手の気持ちや意見を考えて行動できていますか。	よくできる	10	15
		まあできる	12	12
		あまりできていない	8	3
		できていない	0	0
	8. 地域の人とコミュニケーションをとることは得意ですか。	とても得意である	7	12
		まあ得意である	13	14
		あまり得意ではない	7	2
		苦手である	3	2

表 す 力	9. わかったことや考えたことを、わかりやすく話すことは得意ですか。	とても得意である	8	10
		まあ得意である	9	11
		あまり得意ではない	10	8
		苦手である	3	1
	10. わかったことや考えたことを、工夫しながら書くことは得意ですか。	とても得意である	9	15
		まあ得意である	15	13
		あまり得意ではない	5	2
		苦手である	1	0
	11. 調べてまとめたことを、みんなの前で発表することは得意ですか。	とても得意である	6	10
		まあ得意である	10	14
		あまり得意ではない	9	5
		苦手である	5	1
感 謝 の 気 持 ち	12. 家族の人に「お世話になったな」と思うことはありますか。	とても思う	18	27
		まあ思う	10	3
		あまり思わない	2	0
		思わない	0	0
	13. 地域の人に「お世話になったな」と思うことはありますか。	とても思う	8	26
		まあ思う	11	3
		あまり思わない	7	1
		思わない	4	0
	14. 今までの学校生活を振り返り、どのような人にお世話になりましたか。 (自由記述)	家族(親・兄弟)	28	30
		先生方	27	29
		地域の方	12	29
		給食調理員	4	26
在校生		3	20	
カメラマン		5	29	
太鼓指導員		2	28	
米作り指導の方		1	23	
修学旅行のホテルの方		1	26	
卒業生(先輩)	1	27		

資料⑧

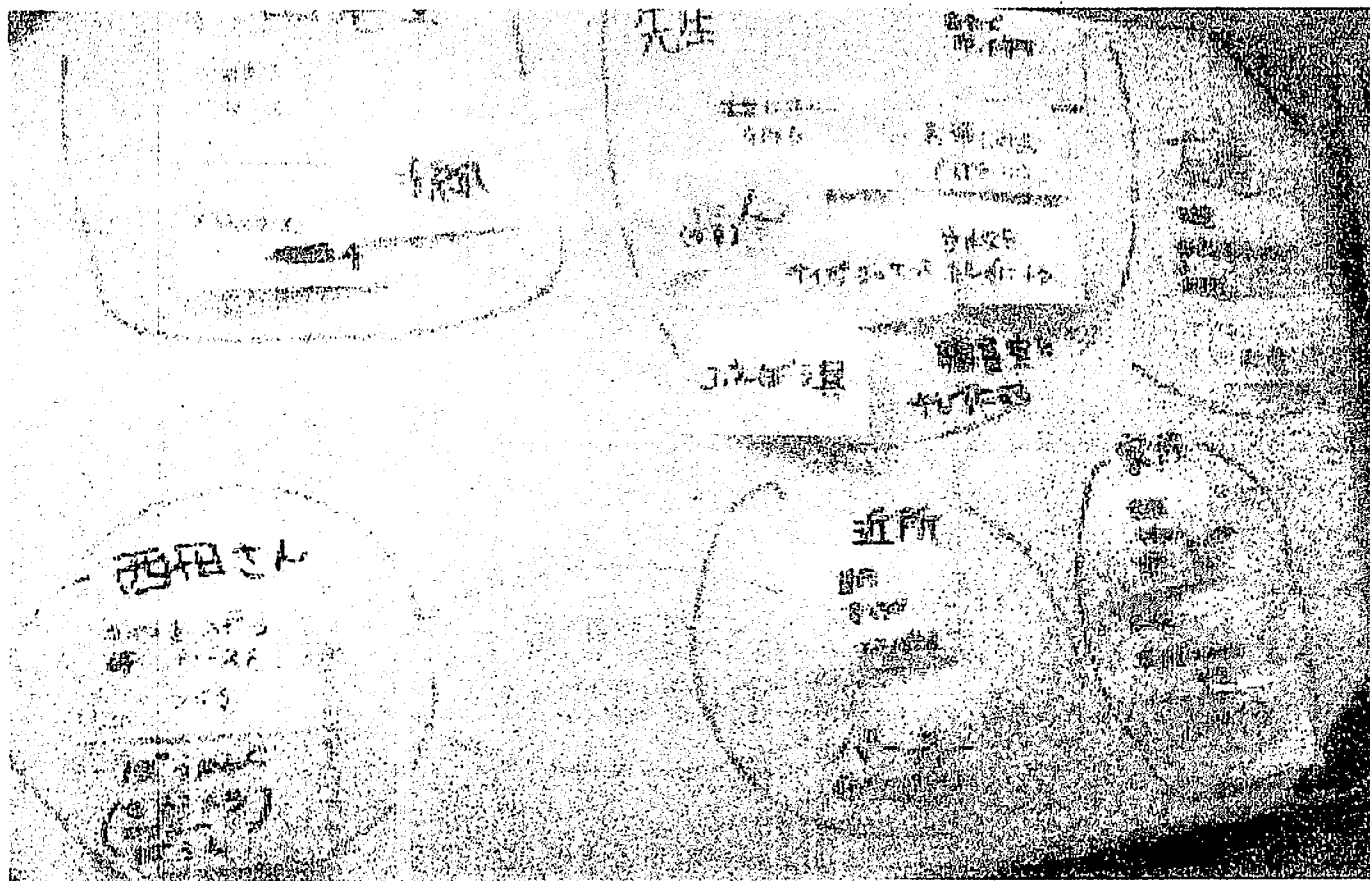
実践で用いた思考ツール ～座標軸～



実践で用いた思考ツール

～KJ法～

個人で考えたことを，全体で
分類・整理する思考ツール



実践で用いた思考ツール ～イメージマップ～

アイデアを出す
広げる
関係づける
関連づける
ための思考ツール

